

## BECC JAPAN 2017 ポスター発表者の皆様へ

BECC JAPAN 2017 開催にあたり、下記の通りご案内いたします。  
お手数をお掛けいたしますが、ご確認いただきますようお願い申し上げます。

### 1. 会場へのアクセス

JA共済ビル カンファレンスホールへのアクセスにつきましては、P3～4 の地図等をご覧ください。

### 2. 本会議当日朝の受付および開会について

受付は、JA共済ビル カンファレンスホール入り口正面にあります受付用カウンターで行います。

開場は、午前9時30分、開会は10時です。

受付用カウンターにてメール配信させていただきました参加票をご提示いただき、名札をお受け取り下さい。本会議翌日の施設見学会に参加予定の方につきましては、受付時にあらためて出欠の確認をさせていただきます。

### 3. ポスターセッションについて

ポスターセッション会場は、ホール E で行います。当日の9時30分からポスターセッション会場で展示パネル(写真参照)に貼ることができます。

ポスターセッションプログラムのご自身のセッション番号が書かれております展示パネルにお貼り下さい。展示の際は、セロハンテープや両面テープなどをご用意しておりますのでご利用ください。なお、マグネットは用いることはできません。

ポスター発表は12時25分から13時15分まででございます。なお、ポスターの掲示は口頭発表終了後(18時05分)までとさせていただきます。

ポスターは、各自で貼っていただき、掲示終了時間前後に各自で取り外していただきますようお願いいたします。

### 4. 発表資料の公開について

会議終了後に改めまして発表資料の最終版を WEB サイトに公開させていただきたいと思っております。ただし、①各発表者は発表資料の公表・非公表を選択可能であること、②公表資料は会議当日の発表資料と一部異なるものでも構わないとすること、を前提といたします。会議終了後にあらためてご案内させていただきます。

### 5. ランチについて

JA共済ビル カンファレンスホール建物内および近隣のレストラン等をご利用ください※。

午後のセッションの発表者の皆様につきましては、早めに会場にお集まりいただけますようお願いいたします。

※JA共済ビル カンファレンスホール建物内には、交流会で使用されます「みどり食堂」がランチの時間もご利用可能ではございますが、支払いに際し、デビット式のカードの発行やカードへのチャージが必要となります。ご利用される場合は、予めご注意くださいようお願い申し上げます。

## 6. 交流会について

交流会(立食パーティー形式)は、18時20分～19時40分となっております。交流会に参加される方は本会議終了後、3階みどり食堂へのご移動をお願いいたします。

## 7. 当日の緊急時等連絡先

事務局連絡先

齋藤:090-9150-9339、jyukankyo@docomo.ne.jp

以上

気候変動・省エネルギー行動会議 事務局  
〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町 3-29  
紀尾井町アークビル 3 階 (株)住環境計画研究所内  
担当: 齋藤・鶴崎  
Tel 03-3234-1177 / Email: info@seeb.jp

【会場へのアクセス】

J A 共済ビル カンファレンスホール （J A 共済ビジネスサポート株式会社）

TEL : 03-3265-8716 FAX : 03-3265-8719

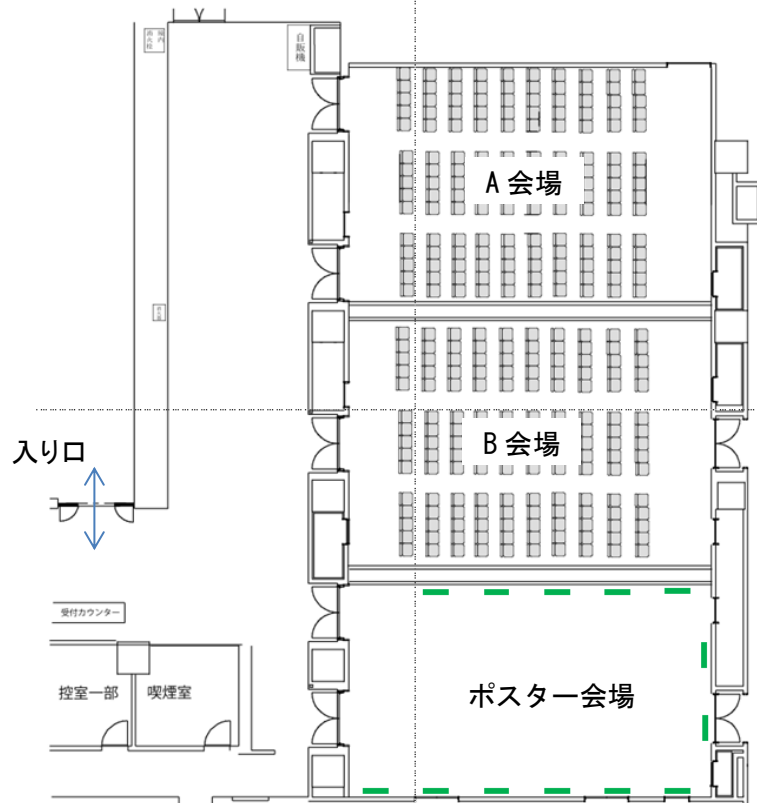


【会場レイアウト図】

○ AM(9:30~11:40)



○ PM(12:25~18:05)



【全体スケジュール】

9月5日(火) 本会議: JA 共済ビル カンファレンスホール

時間	プログラム	
9:30~10:00	受付	
10:00~10:05	開会挨拶 (ホール A-D) ○気候変動・省エネルギー行動会議 代表 中上 英俊	
10:05~10:20	来賓挨拶 (ホール A-D) ○経済産業省 資源エネルギー庁 省エネルギー課長 吉田 健一郎 ○国土交通省 住宅局住宅生産課 建築環境企画室長 山下 英和 ○環境省 地球環境局 地球温暖化対策課長 松澤 裕	
10:20~11:40 (80分)	基調講演 (ホール A-D) タイトル未定 ○ローレンス・パークレー国立研究所 (米国) シニアサイエンティスト Dr. Alan Meier (アラン・マイヤー)	
11:40~12:25	ランチ休憩 (各自)	
12:25~13:15 (50分)	ポスター発表セッション (ホール E)	
13:15~14:05 (50分)	口頭発表セッション 1A (ホール A) 「省エネ住宅の評価」	口頭発表セッション 1B (ホール B-D) 「業務施設での省エネ行動」
14:05~14:15	休憩	
14:15~15:30 (75分)	口頭発表セッション 2A (ホール A) 「教育・普及啓発」	ライトニングセッション 2B (ホール B-D) 「省エネ行動の規定要因・HEMS」
15:30~15:50	コーヒーブレイク	
15:50~17:05 (75分)	口頭発表セッション 3A (ホール A) 「HEMS 導入世帯の省エネ行動」	ライトニングセッション 3B (ホール B-D) 「事業所・学校・教育」
17:05~17:15	休憩	
17:15~18:05 (50分)	口頭発表セッション 4A (ホール A) 「省エネ機器の購買行動」	口頭発表セッション 4B (ホール B-D) 「エネルギー事業者の取り組み」
18:20~19:40 (80分)	交流会 (3F みどり食堂)	

9月6日(水) 施設見学会: Fujisawa サステイナブル・スマートタウン

時間	プログラム
10:00~11:30	午前の部
13:00~14:30	午後の部

【詳細スケジュール】

(1)口頭発表セッション

1A	<b>省エネ住宅の評価</b> 司会： 天野 晴子 （日本女子大学）
	省エネ住宅改修の費用便益分析：—全国消費実態調査とエネルギー消費性能プログラム（住宅版）を用いて— 鷺津 明由 （早稲田大学 社会科学総合学術院 教授）
	アンケート調査に基づく住宅設計時における施主の選択と温熱環境の満足度に関する研究 前 真之 （東京大学大学院 工学系研究科建築学専攻 准教授）
1B	<b>業務施設での省エネ行動</b> 司会： 坊垣 和明 （東京都市大学）
	大学施設における学生の省エネルギー行動と意識 湯浅 和博 （東京工業大学 環境・社会理工学院建築学系 准教授）
	中小事業所向け省エネアドバイスレポート自動生成に資する稼働日推定および簡易用途分解の推定傾向分析 小松 秀徳 （電力中央研究所 エネルギーイノベーション創発センター 主任研究員）
2A	<b>教育・普及啓発</b> 司会： 松葉口 玲子 （横浜国立大学）
	日本の中学生のエネルギーリテラシー構造モデル調査 秋津 裕 （京都大学大学院 エネルギー科学研究科 博士課程）
	教育ゲームの活用による省エネ行動の普及 杉浦 淳吉 （慶應義塾大学 文学部 教授）
	地方における省エネ行動促進のために～普及啓発実践者のための研究交流集会の開催 岡崎 朱実 （北海道大学 高等教育推進機構高等教育研究部）
3A	<b>HEMS 導入世帯の省エネ行動</b> 司会： 八木田 克英 （東京大学）
	家庭内における省エネルギー行動と意識に関する研究：研究の全体概要と省エネルギー情報提供のあり方に関する検討結果 坊垣 和明 （東京都市大学 名誉教授）
	省エネルギーを推進するライフスタイルとは？～価値観を含むライフスタイル要因からの考察～ 大塚 彩美 （横浜国立大学大学院 環境情報学府 博士課程後期）
	電力価格が上がる時 一気に節電、それとも徐々に？ 牛房 義明 （北九州市立大学 経済学部 准教授）

4A	<b>省エネ機器の購買行動</b> <span style="float: right;">司会： 杉浦 淳吉（慶應義塾大学）</span>
	省エネ家電製品購買行動の促進要因に関する研究 前田 洋枝（南山大学 総合政策学部 准教授）
	経済的側面から見た省エネルギー型給湯器の購買行動の分析 天野 晴子（日本女子大学 家政学部 教授）

4B	<b>エネルギー事業者の取り組み</b> <span style="float: right;">司会： 前 真之（東京大学）</span>
	エネルギー供給事業者の新たなビジネス・モデル：顧客接点と行動科学を活用した情報提供による新省エネ技術やサービスの導入推進 ケン ハイグ（日本オラクル株式会社 渉外部 ディレクター）
	暖房自動制御と見える化システムを備えた省エネサポートシステムの開発：省エネサポートアプリによる情報提供手法開発と省エネルギー効果の検証 平山 翔（株式会社住環境計画研究所 主任研究員）

(2)ライトニングセッション

2B	<p><b>省エネ行動の規定要因・HEMS</b> 司会： 三神 彩子（東京ガス株式会社）</p> <p>他者行動のフィードバックは家庭の電気使用量を減らすことができるか —「Leading Eco Life つるみ」における検討—</p> <p>安藤 香織（奈良女子大学大学院 生活環境科学系 准教授）</p>
	<p>一人暮らしの住まいにおける省エネルギー行動の研究：質的研究からわかる行動規定因の特徴</p> <p>長澤 夏子（お茶の水女子大学 基幹研究院 准教授）</p>
	<p>需要家の行動変容を促すための要因および介入手法と効果に関する既存研究の考察</p> <p>錦織 聡一（東京工業大学 環境・社会理工学院イノベーション科学系 研究員）</p>
	<p><del>消費者の環境関心と環境配慮行動 発表取り下げ</del></p> <p><del>藤澤 美恵子（金沢大学 人間社会研究域 教授）</del></p>
	<p>環境ビッグデータの活用 10億件のHEMSデータから何が見えるのか？：～HEMSデータから見る生活者行動～</p> <p>本田 智則（産業技術総合研究所 安全科学研究部門 主任研究員）</p>
	<p>分電盤分岐回路の電力分析による機器動作推定技術のHEMSサービス適用</p> <p>高橋 知成（パナソニック株式会社 エコソリューションズ社システム開発センター 主務）</p>

3B	<p><b>事業所・学校・教育</b> 司会： 日高 一義（東京工業大学）</p> <p>事業所の省エネ行動促進に向けた「ナッジ」の考え方と具体例</p> <p>木村 幸（電力中央研究所 エネルギーイノベーション創発センター 主任研究員）</p>
	<p>簡易な情報掲示による省エネルギー行動誘発—通年実証結果とさらなる省エネルギー行動誘発へのアプローチ—</p> <p>糸井川 高穂（宇都宮大学 地域デザイン科学部 助教）</p>
	<p>大学施設における節電シール配布による実験機器の省エネルギー効果</p> <p>大橋 巧（日建設計総合研究所 主任研究員）</p>
	<p>中・高・大学生の食生活に関する省エネ教育による意識・行動変容効果の違い</p> <p>奈良 英代（藤女子中学校・高等学校 技術・家庭科 家庭科教諭）</p>
	<p>日本型省エネ学習プログラムの開発とその教育効果：小中高大における『省エネ行動スタートBOOK』を活用した授業実践から</p> <p>松葉口 玲子（横浜国立大学 教育人間科学部 教授）</p>
	<p>家庭における親子の省エネルギー意識・行動の定着に関する研究</p> <p>高田 宏（広島大学大学院 教育学研究科 准教授）</p>



(3)ポスター発表セッション

1	社会生活基本調査に基づく家庭の省エネポテンシャル 平湯 直子 (武蔵野大学 経済学部 准教授)
2	実験集合住宅 NEXT21 でのデマンドレスポンス実証について 秋岡 尚克 (大阪ガス株式会社 商品技術開発部)
3	HEMS データ分析に基づく居住者へのフィードバック 青柳 光 (九州大学大学院 人間環境学府空間システム専攻 修士課程)
4	HEMS 及び行動変容デバイスの事例調査 吉本 瑛里子 (九州大学大学院 人間環境学府空間システム専攻 修士課程)
5	設計者と施主の環境意識共有のための冊子コンテンツの作成 新富 凌汰 (東京大学大学院 工学系研究科建築学専攻 修士課程)
6	節水・節湯に関する省エネ行動の普及促進および効果の定量化 荒木 葉子 (新渡戸文化短期大学 生活学科 准教授)
7	省エネ行動の難易度の違いによる効果的な情報提供の検討 近藤 芳樹 (東京ガス株式会社 リビングサービス推進部)
8	省エネ型買い物ゲームによる意識・行動変容効果 小池 温子 (東京家政大学 家政学部 助手)
9	東京都北区におけるごみ削減普及啓発による行動変容効果 赤石 記子 (東京家政大学 家政学部 講師)
10	『省エネ行動スタート BOOK』を活用した授業実践 岩瀬 正幸 (関東学院大学 非常勤講師)
11	家庭内における省エネルギー行動と意識に関する研究：新築マンション居住者に対する入居前後ならびに竣工1年後のアンケート調査結果 吉田 一居 (株式会社東急不動産 R&D センター 上席研究員)
12	家庭内における省エネルギー行動と意識に関する研究：エネファームを設置したマンションにおけるエネルギー使用量と省エネ行動の関係 三神 彩子 (東京ガス株式会社 リビングサービス推進部 主幹)
13	家庭内における省エネルギー行動と意識に関する研究：新築マンション電力使用量による生活パターン分類と電力削減目標の算定 阿部 寛人 (東京都市大学大学院 環境情報学研究科 博士課程)